

平成 28 年度第 5 回 鳥取支部評議会の概要報告

開 催 日	平成 29 年 3 月 24 日 金曜日 午後 1 時 30 分から 3 時 30 分
開 催 場 所	しいたけ会館 対翠閣
出 席 者	山田評議員（議長）、足立評議員、馬場評議員、細田評議員、河毛評議員、嶋田評議員、竹中評議員、門脇評議員 【順不同】
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 29 年度鳥取支部事業計画(案) (健康づくり事業)について 2 協会けんぽにおけるインセンティブ制度について 3 その他(健康経営優良法人 2017、鳥取県地域医療構想)
議 事 概 要 (主な意見等)	<p>○議題 1「平成 29 年度鳥取支部事業計画(案) (健康づくり事業)について」事務局より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ■資料 1：鳥取支部の健康づくり事業に関する現状と計画 ■資料 2-1：平成 28 年度事業概況・企画総務グループ ■資料 2-2：平成 28 年度事業概況・保健グループ ■資料 3：事業所とのコラボ事業(コラボヘルス)の推進について <p>《主なご意見と回答》</p> <p>【事業主代表】 健康づくり宣言事業所 1,084 社が全事業所に占める割合を教えてください。</p> <p>(事務局) 被保険者がいる事業所数は約 8,700 です。全事業所の約 12.4%が健康づくり宣言をしていることとなります。ちなみに、宣言事業所の被保険者数は全被保険者の 35%を占めています。</p> <p>【事業主代表】 規模の大きい事業所が健康づくり宣言をしているということですね。</p> <p>【学識経験者】 企業健康度カルテの個人版はどのようなものをイメージしているのでしょうか？</p> <p>(事務局) 経年比較できるようなものを考えておりますが、健診機関からの結果通知にも前年のデータが掲載されているため、どのようなものであれば個人の行動変容につながるカルテにな</p>

るのか、まだこれから十分に検討しなければならない段階です。

【学識経験者】

私学共済から来る健診結果通知には同年代の平均値と比べてどうなのかという視点での評価が書いてあり、なかなか面白いです。「あなたは〇才だけど、結果は〇才です」というのは良い刺激になります。同性や同年代との比較という視点を取り入れると良いと思います。

【事業主代表】

健康保険給付の部門では「サービス向上」が謳ってありますが、お客様の要望を聞く体制はどうなっていますか？また、これまで支部の窓口等に寄せられたクレームはどのようなものがありますか？

(事務局)

協会けんぽでは全支部の電話や窓口でいただいたお客様の声を集めて共有できるようになっています。鳥取支部の場合は苦情やご意見は少ないほうですが、「駐車場が少ない」「プライバシーが守れるように窓口のレイアウトを工夫してほしい」といった設備面でのご意見がいくつかありました。これらについては予算を組んで対応したいと考えています。

【事業主代表】

高額療養費に関するクレームはありませんか？

(事務局)

高額療養費に関してのクレームはほぼ無く、制度に関するお問い合わせがほとんどです。年齢や所得によって自己負担が違うこと、限度額適用認定証を使って医療機関窓口で調整ができることをご説明することが多いです。

そこで、サービス向上の取り組みの一環として、鳥取支部では独自に、健康保険給付制度の概要をまとめた「協会けんぽ鳥取支部のしおり」、健康保険委員専用に事務手続きに役立つ「健康保険委員必携」を作成・配布することで事業所のご担当者にご活用いただき、制度について周知できるよう取り組んでいます。

【学識経験者】

全国で最も多いクレームはどのようなものですか？

(事務局)

健康保険証の交付に関する人が多いようです。現状は健康保険証発行が全国で集約されていることもあり、届出から交付まで1~2週間程度お時間を頂戴しております。過去、社会保険事務所のときには窓口で即日交付をしていたこともあって、その当時のことを知っ

ている事業所ご担当者から「遅くて困る」とご意見を頂戴することがあり、ご理解いただくのに苦慮することはあります。

【学識経験者】

健康経営のモデル事業所において企業健康度カルテを用いて健康課題の把握とその対策に取り組むとありますが、具体的なところを教えてください。

(事務局)

企業健康度カルテでわかった健康課題について、鳥取支部と事業所が共同して改善に向けて取り組むことを想定しています。従業員の健康づくりに積極的な事業所ではカルテをすでにご活用いただいておりますが、まだそうではない事業所も多くあります。具体的な健康づくりに取り組んでもらえる事業所を増やすために、健康づくりの具体例とその効果が計測できる事業を行っていきたいと考えています。

【学識経験者】

企業健康度カルテをいただきましたが、若い人と年配者ではカルテに記載してある事業所の傾向から受ける印象が違うようです。男女別や年代別での比較も掲載してあると良いように感じました。

○議題2「協会けんぽにおけるインセンティブ制度について」事務局より説明

■当日資料：インセンティブ制度(試行実施)案

【事業主代表】

インセンティブを付けるために平均保険料率が10%を超えることがないようにしていただきたいと思っております。

(事務局)

その点につきましては重要なポイントだと認識しております。インセンティブを付けるために新たな負担を加入者に求めるようなことがないようにする点は明確になっています。

【学識経験者】

インセンティブの幅はまだ結論が出ていないということではよろしいでしょうか？

(事務局)

現段階ではまだ決まっておりません。

【学識経験者】

特定保健指導においては、その対象者の改善率が評価指標になっていますので、要治療者についても検査値が改善された結果の評価指標があっても良いように思います。

(事務局)

平成 29 年度に試行した結果、新たに評価指標として加わる可能性はあります。

【事業主代表】

インセンティブの付け方によっては、長い期間良い評価をもらうことができない支部が出てきて、その支部の加入者は長い期間ずっと負担が重くなってしまいます。あまり極端なインセンティブを付けるとその地域の加入者が困るので、その点は配慮する必要があるのではないかと思います。

(事務局)

全国的にも同様のご意見を頂戴しているところです。極端なインセンティブにはならないとは思いますが、加入者の行動変容が直接的に保険料率に影響することとなるため、鳥取支部としては、これまで以上に事業を活性化させ取り組んでいく所存です。

【事業主代表】

評価指標は今回の資料に記載がある内容で決まりでしょうか？

(事務局)

29 年度に試行する評価指標としては、今回の資料にある通りです。定性的な要因として、例えば、健康経営に取り組む事業所数を評価指標に入れてはどうかということも議論されましたが、すでに全支部で共通の指標になっている項目で加入者の行動変容を数値で表わせるものを指標とすることとしています。

【事業主代表】

インセンティブ制度がうまくいくように試行結果をきちんと検証することが必要だと思います。

【事業主代表】

鳥取支部では加入者の行動変容を促すためにどのような取り組みを実施される予定でしょうか？

(事務局)

健康経営で事業所内での取組を活発化させることを中心に取り組んでいきたいと考えてい

ます。

【事業主代表】

加入者や事業主に「もっとこうしてほしい」（例えば、ジェネリックを使ってほしい）ということを伝えることが必要だと思います。

【学識経験者】

協会けんぽが設立された理念が、まさにこのインセンティブ制度だと思います。頑張っている支部の努力が保険料率という形で加入者へ還元されるようになり、原点に立ち返っているということだと思います。

○議題3「その他(健康経営優良法人2017、鳥取県地域医療構想)」事務局より説明

■資料4：健康経営優良法人認定2017について

■資料5：鳥取県地域医療構想について

【学識経験者】

これからどんどん人口が減っていくなかで、今回の地域医療構想はいつの時点までを想定した内容となっているのでしょうか？

(事務局)

鳥取県においては、2025年に向けて取組を進めることとなっています。

【事業主代表】

各都道府県で取り組むことも必要ですが、少子高齢化は全国的な問題なので、国が主導で取り組むべき問題だと思います。

(事務局)

国としては、歴史的な背景から西高東低となっている入院病床数を、各都道府県の将来の人口構成に合わせて平準化して、膨らむ医療費の増加を抑えたいという目的があります。また、急性期医療、慢性期医療など、必要な医療・介護の体制も各都道府県の将来の人口構成に合わせていく必要があることから都道府県で構想を練っているところです。

これまで県内の地域医療構想調整会議に出席してきた感想としては、医療機関も経営していかなければならないので、将来の需要見通しを立てて、それぞれが経営的視点で判断していけば、おのずと病床数等の体制が整っていくのではないかと思います。

【学識経験者】

大きな枠組みで言えば、これからは在宅医療（介護）がもっと必要になってきます。それから、高齢者の定義も見直さなければなりません。定年退職や年金受給、後期高齢者医療保険など医療や介護だけでなく、もっと社会の仕組み全体で考える必要があります。

また、医療介護を担っていく人材について、就職すれば奨学金を無料にする施設や、学生のうちから青田買いをする傾向が見えています。反面、鳥取県内の介護士養成課程は定員の7割程度しか応募がなく、全国的にも同じような傾向にあるようです。

(事務局)

「健康経営」という視点を各事業所が取り入れていく時代がきたということではないかと思えます。

【事業主代表】

中小企業の事業主は利益を出すので精一杯な部分があり、従業員個々の健康管理までは面倒を見きれないというのが事業主としての素直な気持ちです。健康管理は自己責任で行わせるということも大切だと思います。

【学識経験者】

事業主にとって従業員の健康についてもっとも気を付けなければならないのは過重労働の問題だと思います。

(事務局)

率直なご意見ありがとうございます。事業主の皆様は厳しい経営環境の中にあるという視点を踏まえつつ、健康経営推進事業を進めていきたいと思えます。

特記事項

- ・傍聴人：新日本海新聞社記者 1 名（3/25 朝刊に関連記事掲載）
- ・次回評議会の予定：平成 29 年 5 月